

やまなしスタンダードの検証

県教育委員会では、「すべての学校で校長のリーダーシップの下、全教職員がチームとなって授業研究が行われている山梨県」を合い言葉に、児童生徒の確かな学力の定着・向上を目指した取組を進めています。関連する質問紙調査の結果から、現状の課題を明らかにします。

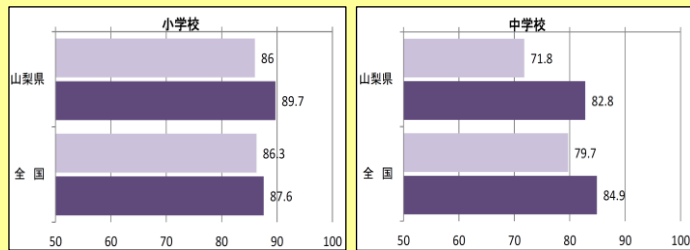
※丸数字は、「やまなしスタンダード」における授業づくりの視点。(裏面参照)

※質問紙調査に該当する項目がある、①②③⑤⑥について検証。

※平成 27 年度 平成 28 年度

①授業の始めに児童生徒に授業のめあて(目標)を示している。

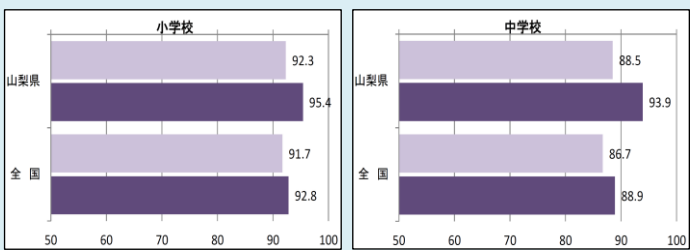
授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う。【児童生徒質問紙】



授業の中で目標を示すことは意識されています。さらには、教師と児童生徒が目標を共有し、より主体的な学びにつながる授業づくりが求められます。

②話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れている。

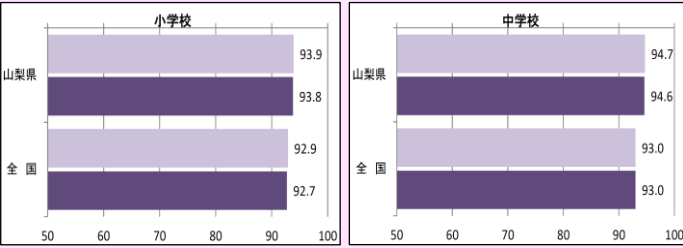
各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた。【学校質問紙】



小・中学校ともに言語活動の充実が図られています。児童生徒質問紙調査においても、言語活動の充実に関わる項目で肯定的な回答をした割合は、全国より高い数値を示しています。

③児童生徒は、他の人の話や発表に耳を傾けている。

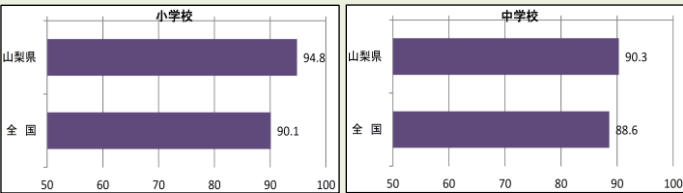
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。【児童生徒質問紙】



相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えるという項目においても、良好な結果が見られます。人の話を最後まで聞くことができるということは、グループで話し合ったり、学級全体で意見交換をしたりして課題を解決する場面でも大切なことです。

⑤活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにしている。

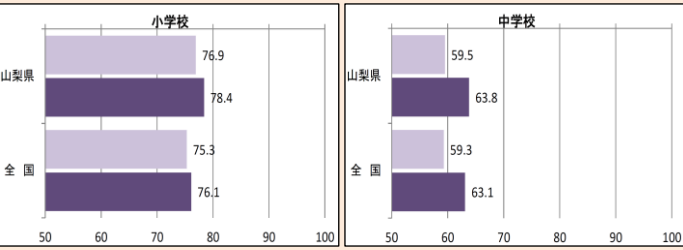
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした。【学校質問紙】



教師自身が、児童生徒の学習過程に対する見通しをもち、授業改善に取り組んでいる様子が見られます。

⑥授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて(目標)を達成しているかを評価している。

授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。【児童生徒質問紙】



教師の適切な評価とともに、児童生徒に授業の振り返りを意識させる活動を意図的に仕組む必要があります。児童生徒自らが学びを振り返ることにより、児童生徒の主体性が育まれます。

山梨県の子供たちの様子

児童生徒質問紙調査では、肯定的な回答は全体の約9割であった。上位3項目を掲載。○…全国平均と比べてよい内容 △…全国平均と比べて課題がある内容

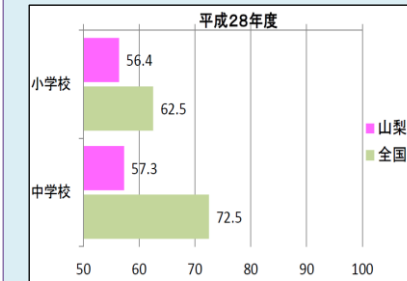
児童質問紙の項目	山梨県	全国との差
○学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている	70.9%	+12.3
○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週に1回以上行く	26.3%	+9.9
○今住んでいる地域の行事に参加している	77.6%	+9.7
△5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う	84.5%	-3.4
△学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)	60.1%	-2.4
△週に1回以上、新聞を読んでいる	22.3%	-1.7

【中学校】

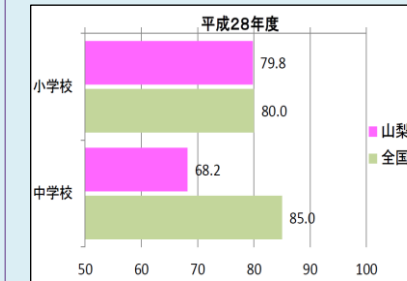
生徒質問紙の項目	山梨県	全国との差
○今住んでいる地域の行事に参加している	59.4%	+14.2
○あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていていると思う	89.4%	+11.0
○学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている	68.9%	+10.5
△1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う	63.9%	-12.9
△学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)	63.9%	-4.0
△家で、学校の授業の予習をしている	30.4%	-3.8

小学校と中学校の連携強化

近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。【学校質問紙】



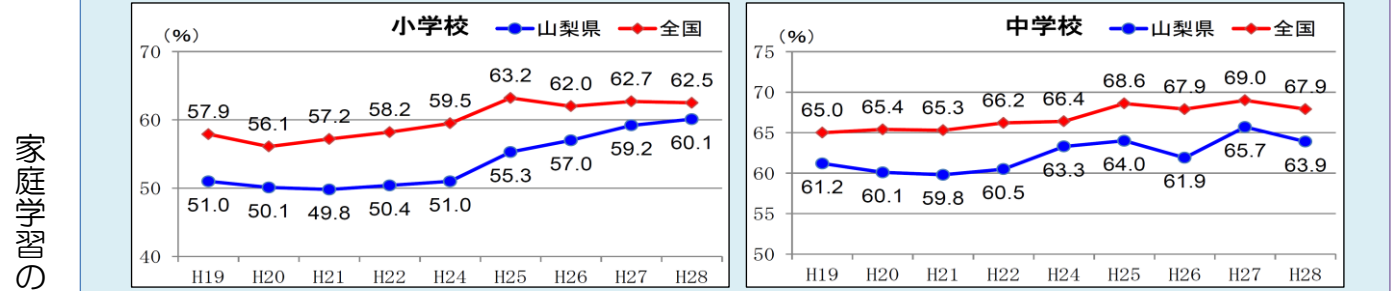
近隣等の中学校(小学校)と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行った。【学校質問紙】



小中学校で教員同士の交流は行われていますが、「授業研究を行うなどの合同研修を行うこと」や「教育課程の接続」については取組があまり見られません。中学校区内において、小中学校の課題や指導内容を共有し、共に学び合う場や機会を有効活用していきましょう。

昨年度の重点項目の検証

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(1時間以上)【児童生徒質問紙】



家庭学習の充実

経年的に見ると、全国平均との差が縮まっています。しかし、平日1日当たり1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合は、依然6割程度に留まっています。また、「普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以上ゲームをする割合」は、小学校で28.7%(全国29.7%)、中学校で35.9%(全国34.9%)の数値を示し、経年的に増加傾向にあります。家庭での計画的な学習に向けて、学習内容や方法を具体的に指導するとともに、家庭や地域と連携するなかで、学習習慣の定着を図っていく必要があります。